

平成 30 年 度

高等学校入学者選抜学力検査問題

数 学

注 意 事 項

- 1 問題は、1 ページから 6 ページまであります。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

1 次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(12点)

(1) 次の計算をしなさい。

ア $9 - 7 \times 2$

イ $(54ab + 24b^2) \div 6b$

ウ $\frac{3x - 2y}{7} - \frac{x + y}{3}$

エ $\frac{15}{\sqrt{3}} + \sqrt{48}$

(2) $a = \frac{1}{8}$ のとき、

$$(2a - 5)^2 - 4a(a - 3)$$

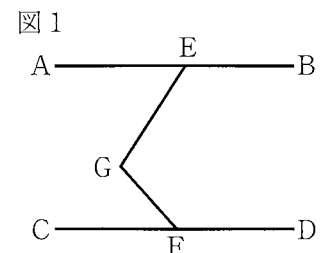
の式の値を求めなさい。

(3) 次の2次方程式を解きなさい。

$$(x - 6)(x + 6) = 20 - x$$

2 次の(1)~(4)の問いに答えなさい。(9点)

(1) 図1において、2直線 AB, CD は平行であり、2点 E, F は、それぞれ直線 AB, CD 上の点である。点 G は、2直線 AB, CD の内側の点である。 $\angle BEG = 124^\circ$, $\angle EGF = 107^\circ$ のとき、 $\angle GFC$ の大きさを求めなさい。

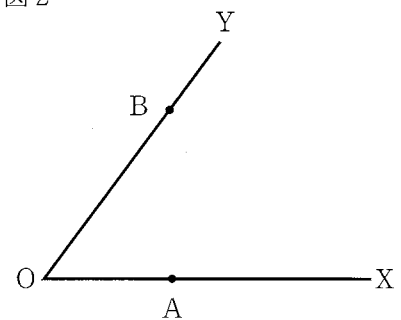


- (2) 360 Lで満水になる水槽がある。この水槽に、空の状態から毎分 x Lの割合で水を入れ続けるとき、満水になるまでに y 時間かかるとする。 y を x の式で表しなさい。

- (3) 図2において、点Aは辺OX上の点であり、点Bは辺OY上の点である。 $\angle AOP = \angle BOP$ であり、2点B, P間の距離が最も短くなる点Pを作図しなさい。

ただし、作図には定規とコンパスを使用し、作図に用いた線は残しておくこと。

図2



- (4) 理科の授業で月について調べたところ、月の直径は、3470 kmであることがわかった。この直径は、一の位を四捨五入して得られた近似値である。

月の直径の真の値を a km として、 a の範囲を不等号を使って表しなさい。また、月の直径を、四捨五入して有効数字2桁として、整数部分が1桁の小数と10の累乗の積の形で表しなさい。

3 ある中学校の1年生が、地域のお祭りで、中学生ボランティアとして活動することになり、AさんとBさんを含む1年生5人は、会計係、宣伝係、販売係に分かれて、パンの販売を手伝うことになった。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。(7点)

(1) 表1は、それぞれの係の人数を示したものである。会計係1人と宣伝係1人をくじで選び、残りの3人を販売係とすることにした。

このとき、Aさんが宣伝係で、Bさんが販売係になる確率を求めなさい。ただし、会計係と宣伝係をくじで選ぶとき、どの人が選ばれることも同様に確からしいものとする。

表1

係の人数	
会計係	1人
宣伝係	1人
販売係	3人

(2) 販売するパンは、100円のおまんぱんと150円のメロンパンが合わせて200個用意されていた。それらを販売係が売ったところ、販売終了の2時間前に、おまんぱんは売り切れ、メロンパンは4割売れ残っていた。そこで、地域の方の指示で、売れ残っていたメロンパンを1個につき30%引きにして売ったところ、すべて売り切ることができ、1日の売り上げ金額の合計は24000円となった。

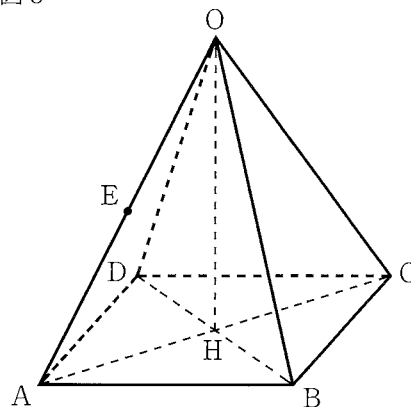
このとき、用意されていたおまんぱんとメロンパンは、それぞれ何個であったか。方程式をつくり、計算の過程を書き、答えを求めなさい。

4 図3の立体は、点Oを頂点とし、正方形ABCDを底面とする四角すいである。この四角すいにおいて、 $AB = 6\text{ cm}$ 、 $OA = OB = OC = OD = 9\text{ cm}$ である。また、底面の対角線の交点をHとする。

このとき、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。(5点)

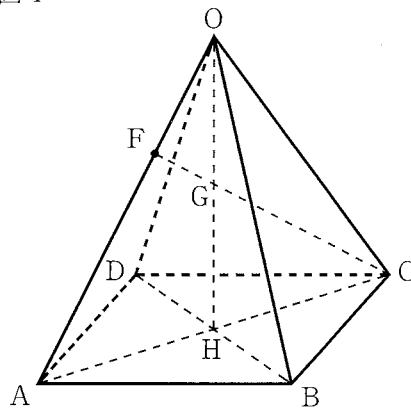
(1) 辺OAの中点をEとする。 $\triangle ODB$ の面積は、 $\triangle EAH$ の面積の何倍か、答えなさい。

図3



(2) この四角すいにおいて、図4のように、 $OF = 3\text{ cm}$ となる辺OA上の点をFとし、FCとOHの交点をGとする。四角すいGABCDの体積を求めなさい。

図4



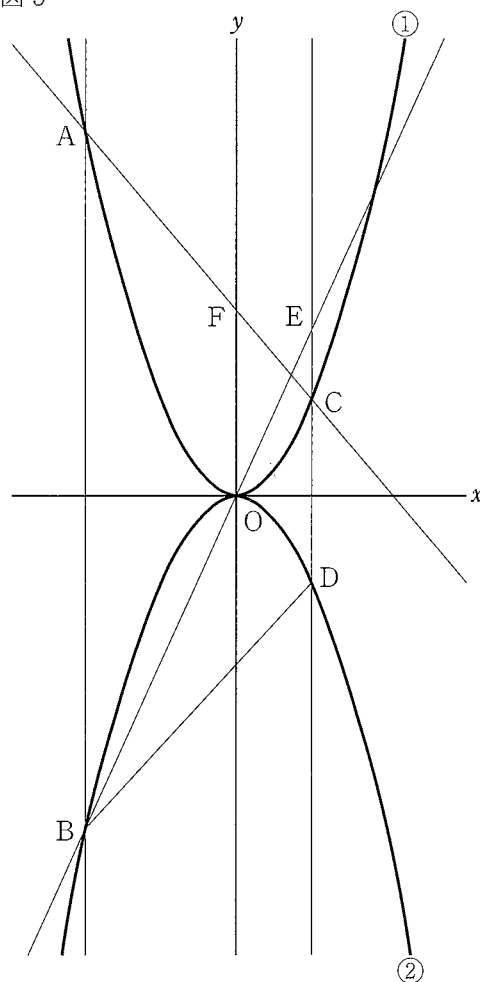
- 5 図5において、①は関数 $y = ax^2$ ($a > 0$) のグラフであり、②は関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ のグラフである。2点 A, B は、それぞれ放物線①, ②上の点であり、その x 座標はともに -4 である。点 C は、放物線①上の点であり、その x 座標は 2 である。

このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。(8点)

- (1) x の変域が $-1 \leq x \leq 4$ であるとき、関数 $y = -\frac{1}{2}x^2$ の y の変域を求めなさい。

- (2) 点 B を通り、直線 $y = -x + 2$ に平行な直線の式を求めなさい。

図5



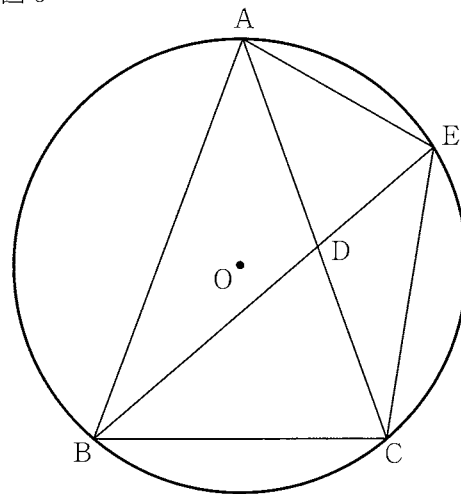
- (3) 点 C を通り y 軸に平行な直線と放物線②との交点を D とし、直線 BO と直線 CD との交点を E とする。直線 AC と y 軸との交点を F とする。四角形 ABOF の面積と $\triangle EBD$ の面積の比が $8 : 3$ となるときの、 a の値を求めなさい。求める過程も書きなさい。

6 図6において、3点A, B, Cは円Oの円周上の点であり、 $AB = AC$ である。AC上に $BC = BD$ となる点Dをとり、BDの延長と円Oとの交点をEとする。

このとき、次の(1), (2)の問いに答えなさい。(9点)

(1) $CB = CE$ であることを証明しなさい。

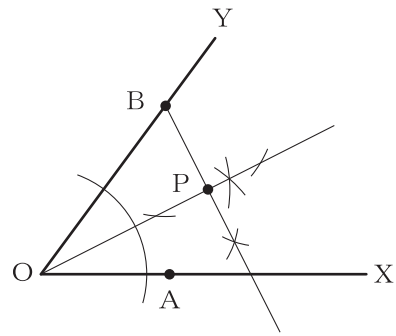
図6



(2) $AB = 6\text{ cm}$, $BC = 4\text{ cm}$ のとき、DE の長さを求めなさい。

問題番号		正答・正答例
1	ア	-5
	イ	$9a + 4b$
	ウ	$\frac{2x - 13y}{21}$
	エ	$9\sqrt{3}$
	(2)	24
	(3)	$x = -8, x = 7$
2	(1)	51
	(2)	$y = \frac{6}{x}$
	(3)	※1
	(4)	a の範囲 $3465 \leq a < 3475$ 月の直径 3.5×10^3 km
3	(1)	$\frac{3}{20}$
	(2)	方程式 ※2 計算の過程 ※2 答 あんパン 75 個, メロンパン 125 個
4	(1)	4
	(2)	$18\sqrt{7}$
5	(1)	$-8 \leq y \leq 0$
	(2)	$y = -x - 12$
	(3)	求める過程 ※3 答 $\frac{2}{3}$
6	(1)	※4
	(2)	$\frac{20}{9}$

※1 大問2(3)



※2 大問3(2)(方程式と計算の過程)

用意されていたあんパンを x 個, メロンパンを y 個とする。

$$\begin{cases} x + y = 200 \\ 100x + 150 \times 0.6y + 150 \times (1 - 0.3) \times 0.4y = 24000 \end{cases}$$

これを解いて, $x = 75, y = 125$

※3 大問5(3)(求める過程)

条件より, $A(-4, 16a), B(-4, -8), C(2, 4a), D(2, -2)$ と分かる。

$B(-4, -8)$ より, 直線 OB の式は $y = 2x$ だから, $E(2, 4)$

また, 2点 A, C を通る直線の式は,

$y = -2ax + 8a$ より, $F(0, 8a)$

四角形 $ABOF$ は台形より, その面積は,

$$\frac{1}{2} \times \{16a - (-8) + 8a\} \times 4 = 48a + 16$$

$$\triangle EBD \text{ の面積は, } \frac{1}{2} \times \{4 - (-2)\} \times \{2 - (-4)\} = 18$$

よって, $(48a + 16) : 18 = 8 : 3$ だから,

$$a = \frac{2}{3}$$

※4 大問6(1)

$\triangle ABC$ と $\triangle BDC$ で,

$AB = AC$ より, $\triangle ABC$ は二等辺三角形だから,

$$\angle ABC = \angle BCD \quad \dots \textcircled{1}$$

$BC = BD$ より, $\triangle BDC$ は二等辺三角形だから,

$$\angle BCD = \angle BDC \quad \dots \textcircled{2}$$

$$\textcircled{1}, \textcircled{2} \text{ より, } \angle ABC = \angle BDC \quad \dots \textcircled{3}$$

また, $\angle ACB = \angle BCD$ (共通) $\dots \textcircled{4}$

$\textcircled{3}, \textcircled{4}$ より, 2組の角がそれぞれ等しいから,

$$\triangle ABC \sim \triangle BDC$$

相似な三角形の対応する角の大きさは等しいから,

$$\angle BAC = \angle DBC \quad \dots \textcircled{5}$$

\widehat{BC} の円周角は等しいから,

$$\angle BAC = \angle BEC \quad \dots \textcircled{6}$$

$\textcircled{5}, \textcircled{6}$ より, $\angle DBC = \angle BEC$ だから,

$\triangle BCE$ は二等辺三角形である。

よって, $CB = CE$